

共同研究

- ・東京電力リニューアブルパワー株式会社 ・東北電力株式会社 ・北陸電力株式会社 ・電源開発株式会社
- ・中部電力株式会社 ・関西電力株式会社 ・四国電力株式会社 ・九電みらいエナジー株式会社
- ・住友電気工業株式会社 ・古河電気工業株式会社 ・東芝エネルギーシステムズ株式会社 ・三菱電機株式会社

NEDO グリーンイノベーション基金事業

「低コスト浮体式洋上風力発電システムの共通要素技術開発」

浮体式洋上風力発電の低コスト化を実現し、導入拡大を目指します。

背景・目的

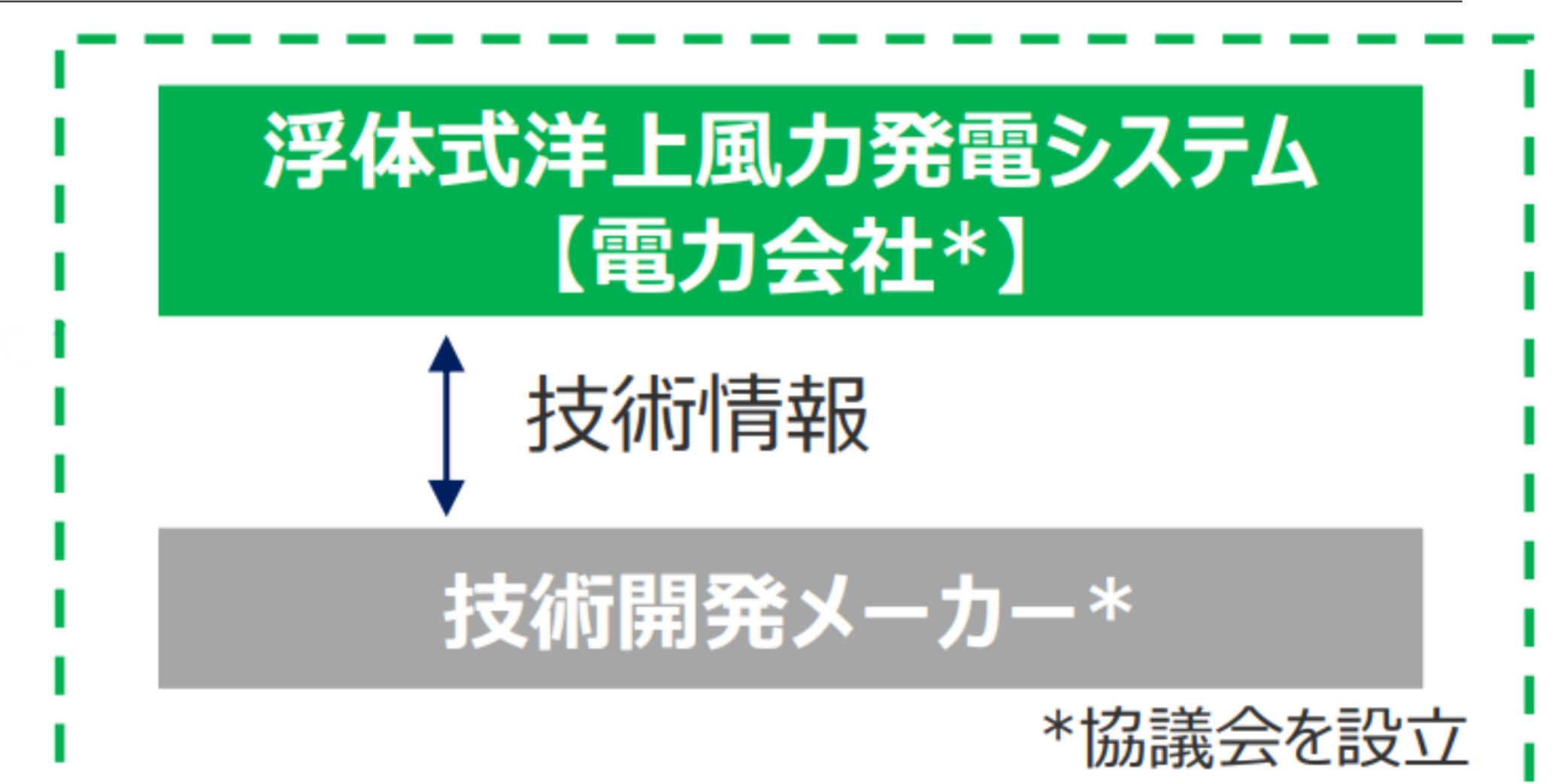
- 2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、浮体式洋上風力発電の導入拡大が望まれています。そのためには、浮体式風力発電システムを構成する高電圧ダイナミックケーブルや大規模な浮体式洋上変電所／変換所などの開発が必要です。これらのシステム構成要素の大型化や低コスト化を技術開発することで、浮体式洋上風力による大規模ウインドファームの実現を目指します。



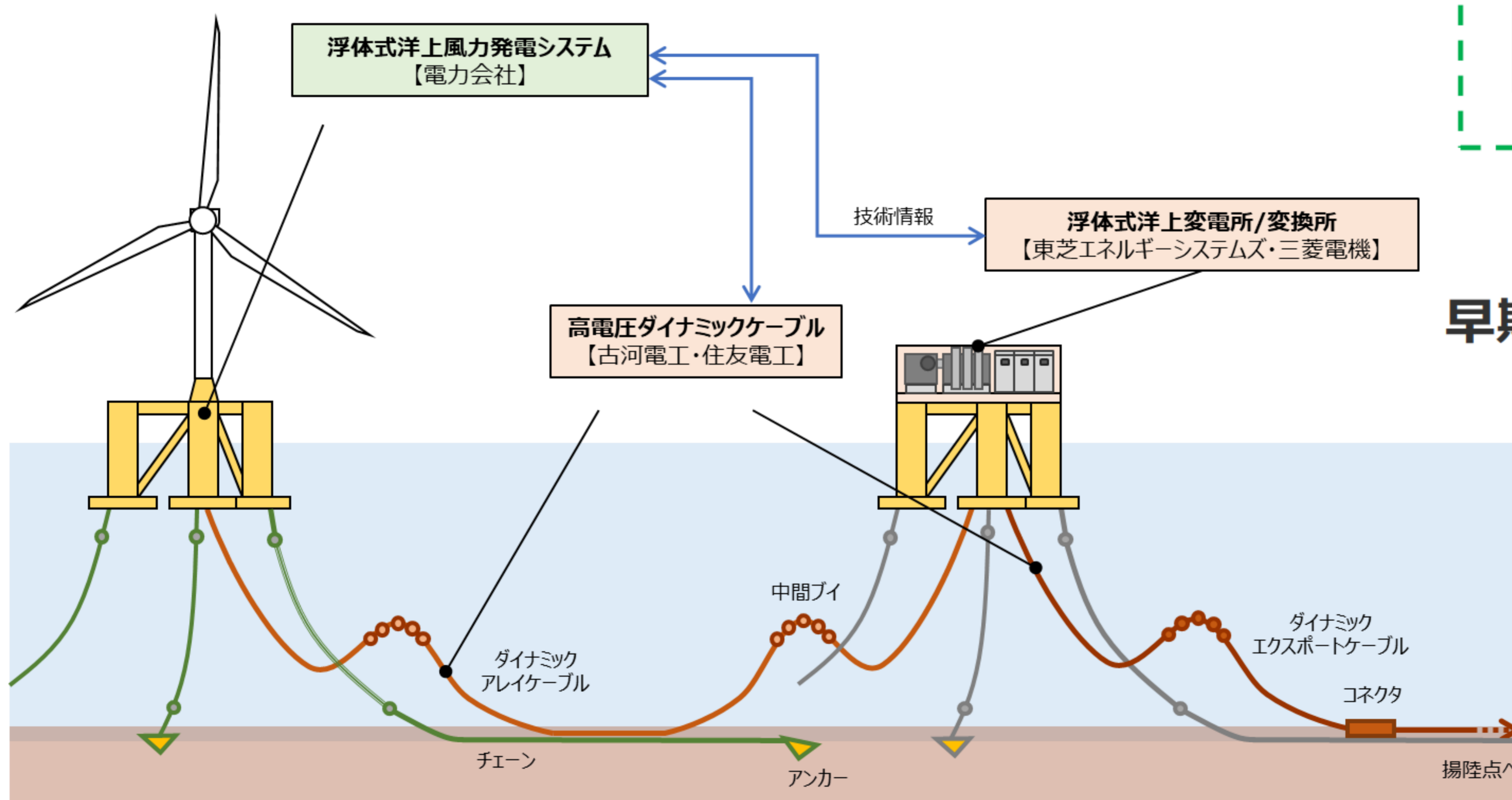
特長

- 2050年カーボンニュートラル実現のため国が創設した野心的研究事業に参画
- 日本の気象・海象条件に適した浮体式洋上風力発電システムについて研究開発
- 電力会社8社と電気設備メーカー4社が協議会を構成し、協力して開発を推進

- 高電圧ダイナミックケーブルの開発
- 浮体式洋上変電所／変換所の開発
- 浮体式洋上風力発電システムの評価



浮体式洋上風力発電の
早期のコスト低減と導入拡大に貢献



開発者の ひとこと

近年、世界的にも注目され、国の計画でも導入拡大が加速している風力発電。電力会社とメーカーが一緒になって、浮体式洋上風力発電のコスト低減・大型化を実現するため、研究開発に取り組んでいます。そして、2050年CO2排出量ネット・ゼロに挑戦し、脱炭素社会の実現に貢献します。